

令和5年度 市長と語る会 質疑応答集

| 上道地区(令和5年5月10日(水))

番号	質問の内容	回答
1	長寿社会課が行っている高齢者のアンケートについて、アンケート結果をどのように活かす予定でしょうか。	このアンケート調査は3年に1回、全国一律で行われています。現在アンケート結果の分析を行っており、分析結果を6月末までにホームページに掲載する予定としております。アンケート結果をもとに、今年度作成する第9期境港市高齢者福祉計画、境港市介護保険事業計画というものに反映させたいと思っています。
2	高齢者が住みやすくなる境港市について、どのような施策をする予定ですか。	以前まで北包括として済生会病院、南包括として「こうほうえん」で行われていたものを、市の直営として平成28年10月1日から、市役所1階に『地域包括支援センター』の総合相談窓口を開設し、各種相談を様々な事業や支援につなげており、フレイル予防や高齢者福祉の充実に努めています。また、『高齢者ふれあいの家』という事業を行っており、上道町では上道町会館・なぎさ会館・上道集会所で週に1~2回の頻度で、地区社協に委託して活動しています。
3	市内荒廃地・荒廃農地について、まだ全く手つかずのところについてはどのようにする予定でしょうか。	市内には農地が667haあり、そのうち215ha、約3割が荒廃農地となっています。 市の取り組みとしては、個人に荒廃農地を整備してもらうための補助金があり、利用実績も年々増加しています。また、農業公社等の取り組みで、伯州綿の栽培をしたり、学校給食米の栽培などをして、荒廃農地の、縮減に努めているところですが、抜本的な施策がなく大きな課題の一つだと考えています。 農地の適正管理については、きちんと適正管理をしてくださいというお願いはしております。連絡がつかないところや危険な場所とか、交通に支障があるところは、農政課の方に、ご相談いただいて、市の方である程度対応できるようにしたいと考えております。
4	皇の松会館について、現在は使用不可という形になっており、倉庫扱いとなっていますが、昔のように使用することや活用ができないですか。	皇の松会館は、平成28年3月までは市が児童クラブとして行政目的で利用していた建物になります。昭和の初期から約90年経っております。耐震性にかなり不安があるという理由で平成28年3月に、行政上の目的を廃止しております。 その際、自治連合会から建物内にある資料等を保管したいという申し出があり、保管場所としての利用に限定の上、ご利用いただいているところです。 引き続き市としては、行政目的でこの建物を利活用するという考えがなく、建物の老朽化が進んでいけば、将来はいずれ解体せざるをえないと考えております。
5	原子力災害時、小・中学校が一時集結所になっているが、核シェルター化されていないため逃げ遅れる人が出る可能性がある。地下に核シェルターを整備してはどうですか。	万が一、原子力災害が発生した場合には、原子力災害対策指針に基づいて退避します。屋内退避は、コンクリート施設がより効果が高く、木造であってもある程度の効果があります。屋内退避が難しい場合は、八頭や岩美、鳥取市の方に避難をするという仕組みがございます。現状、核シェルターは難しいです。
6	原子力災害が発生した場合、計画上は境港から鳥取市に避難するようになっているが、今の道路状況では身動きできないのでは。高規格道路の整備を最優先で行ってほしいです。また、高規格道路の計画ができた1960年代、当初は米子市が通過点になってしまうということで米子市が反対していた経緯がありましたが、その点は中海宍道湖圏域で意思統一できているでしょうか。	高規格道路については、境港には港湾・漁港・空港があり、この機能を発揮するためには、米子-境港間の高規格道路が必要と国も考えており、境港まできちんと整備するという認識であります。米子市も中海・宍道湖・大山圏域の一体的な発展を目指すメンバーなので、米子・日吉津・鳥取県・松江・出雲・安来の中海宍道湖圏域のメンバーも一体となって国に働きかけています。認識は皆同じなのでご安心ください。 また、南海トラフ地震も今後30年間で8割以上の確率で発生すると言われており、太平洋側が被災した際の代替機能となる日本海側の境港なので、発災前に整備するよう国に強く働きかけているところです。
7	水木しげるロードについて、水木しげる記念館の休館中に妖怪の着ぐるみに力を入れてもらいたいです。ロードを歩いていると「着ぐるみどこ?」といった声や、休館を知らずに来られた観光客もあります。おもてなしの面でブロンズ像以外のお土産を用意し、来てよかったですと思ってもらえば、今後の入込も安泰ではないかと思っています。	水木しげるロードの着ぐるみは、コロナ禍が緩和されてきて、登場する機会も少しずつ増やしております。今後、触れ合っても良いと判断すれば、昔みたいに着ぐるみをどんどん登場させて、記念館が1年間休館している分、着ぐるみで楽しんでいただきたいと思っています。

8	<p>英語教育について、今年既に11隻のクルーズ船が寄港しておりますが、来られた欧米の観光客と市内の子供たちが、水木しげるロードで簡単な英語などで会話できる機会を設けてほしい。</p>	<p>【市長】 境港は英語教育に力を入れていて、例えば英語指導助手ALTを中学校に1人ずつ、小学校2校で1人ずつ配置しており、鳥取県内でも充実しております。また、ふれあい体験として、あがりみち保育園の園児は、船長さんとふれあったりしています。小中学校の子どもたちにも英語を使って触れ合う場は大事であると考えております。</p> <p>【教育長】 英語教育について、国際理解教育推進事業という中学校の授業があり、東京英語村というところで、すべて英語で話す体験をしております。また、ご提案されたように英語圏の方々と小さい頃からそういう経験をさせるっていうのは非常にありがたいことで、コロナが落ち着いて、いろんな交流ができるようになった時は充実させていきたいと思っております。</p>
9	<p>市内には水産・港湾関係施設があり、税関や管理組合等の官公庁施設が多くあります。小中学生に小さい頃から職場体験してもらい、将来的に境港市にはよい職場があると思ってもらいたいです。</p>	<p>市内には官公庁等の色々な機関がありますので、学校の中だけで完結するような授業だけではなく、地域の方々の協力を得ながら出かけて行って体験できる場を設け、バランスよく学習してもらいます。そして、境港に生まれてよかったと将来的に思えるようにしてきたいと思います。</p>
10	<p>少子化で児童生徒が減っている状況ですが、市として今後の小中学校統廃合の計画を教えてください。</p>	<p>現在、市内の0~2歳児は3年連続200人を切っている状況です。文部科学省は1クラス30人まで定数を減らすと言っています。そうなると、市内小学校6校ありますので、30人が6つの学校に通うと簡単に考えると、近い将来、小学校卒業するまで1学校1クラスとなる状況まできております。</p> <p>定数を下げるか境港市として独自の取り組みを行うか、今後子どもたちの学びの場をどういう風に創造していくのかというのは、喫緊の課題と考えております。そこで、幹部を中心に学校の再編について、協議をしております。具体的に提案できるところまでは至っていませんが、団体でやる部活動が成立しなくなっています。協議している中の1つは、中学校区を中心でコミュニティスクールをつくり、いろんな子供たちが関わりあえる環境づくりを皆さんに提示し、皆さんとともに考えながら前に進みたいと考えております。</p>
11	<p>荒廃地について、農業公社で伯州綿の耕作を行っていますが、伯州綿以外の栽培、例えば蕎麦等について考えはありませんか。</p>	<p>現在市内には耕作放棄地が215haありますが、新規就農者で白ネギを栽培する若い方も少しずつ増えております。そういった方々のために、二中の周辺など、市が放棄地を畑に再生している箇所もあります。ただ、急激に全耕作放棄地がなくなる訳ではないので、農家の需要に合った箇所を再生していく方針としております。</p> <p>昔、蕎麦やひまわりなど色々試しましたが、なかなか上手くいきませんでした。そこで今研究しようとしているものは、使われなくなつて再生できない田んぼなどでも早く育つ木を植え、バイオマス燃料に活用するものです。当然、新規就農者を増やし、伯州綿の生産等々は進めていますが、色々と研究しながら、少しでも耕作放棄地を減らしていきたいと思います。</p>
12	<p>境高の近くに借り手がいなくなつて使われなくなった市民農園がありますが、そのような場所についてはどうする予定でしょうか。</p>	<p>境高近くの市民農園は、土地所有者の都合で場所を伯州綿畠の近くに移動しております。そのため、市民農園自体は中野町、竹内町、中浜町の3箇所でそのまま維持しており、これからも継続していく考えです。</p> <p>ふれあい農園事業というのをしており、女性農業者人材バンクの方が農業初心者の方に指導しながら栽培を体験してもらうために市民農園を使っています。</p>

2 中浜地区(令和5年5月15日(月))

番号	質問の内容	回答
1	政治離れが進んで投票率が低下していますが、投票率を上げるための努力は何をされていますか?例えば期日前投票所を増やしたり、マイナンバーカードを利用したオンライン投票など、検討などされていますでしょうか。	<p>今回の県知事選での期日前投票はみなとテラスで行っており、もう1ヶ所できるかどうかを選挙管理委員会と検討します。また、オンライン投票ですが、現在国が研究をしているところでして、境港市においても将来的にできないか検討したいと思います。</p> <p>また、投票率の低下につきましては、30~40年前はどこの投票所も7割を超える投票率でしたが、最近は低投票率が続いています。対策としては、中学校・高校に模擬投票や選挙啓発で選挙管理委員会が毎年出かけており、今後も若い人材から投票の大切さを小中学校と連携しながらしっかりと教育していきます。</p>
2	2/15からシークレットベース誠道で毎月第3水曜日に孤立防止を含めた活動として中学生を集めた行事等が地域の協働で行われている。これから子どもたちを見守っていくのは我々だと認識しており、中浜地区でもシークレットベース、秘密基地のようなものはできないでしょうか。	<p>今の社会は学校だけで子どもたちの世話をする、勉強だけをするという世の中ではなくなってきた。教育を地域の方々と一緒にになって取り組む方向へと動いております。</p> <p>この誠道のシークレットベースも、子どもたちの孤立を防いだり放課後の勉強の補充ができるように色々な面で地域の方々にサポートしていただいており、感謝しているところです。</p> <p>この中浜地区でも地域の方がこのように声を上げていただくのは、コミュニティスクールを軸にした今の動きにマッチするものと考えています。公共施設の公民館を開放できるような方向へ進めていきたい。また、地域の各施設や空き家の対策なんかと絡めて、各地域で活用する機運が高まっているのはありがたいことだと思っております。</p> <p>少子化で子どもたちの数が少ない状況は続きますが、子育てしてみたい、地域で守られているという環境を作ることは、市全体で重要なことなので、色々と相談させていただきながら前進したいと思います。</p>
3	<p>中浜地区各種連絡協議会には、30弱の団体が登録しております。活動は、中浜に住んでいてよかったという街づくりを推し進めています。これまでの話を聞き、子どもたちとこの団体・地域をボランティアを通じてマッチングすると良いのではと感じました。</p> <p>現役をリタイヤされた方がボランティアとして子どもたちと触れ合う、戯れて遊んだりすることで、高齢者にとって社会参加や運動・フレイル予防になります。また、宿題を一緒に考えることで脳トレにもなると感じました。非常に効果が發揮されると思うので、連絡協議会でも各団体に参加を呼び掛けていきたいと思います。</p>	<p>子どもと高齢者の交流の案は、高齢者の健康寿命の延伸につながると思いました。学校の方からも、地域の方々と子どもたちがふれあう機会を創出したり、提案できるようにしていきたいと思います。</p> <p>私の地元の余子公民館では、子どもたちが公民館にきて、そこで勉強などのサポートなどもやっております。各地域でできることは色々ありますので、学校と地域で話をして、こういった取り組みが広がっていくとよいなと思います。</p>
4	市と自治会との結びつきを示した組織図や活動の結びつきがわかるものがあると良いと思います。自治会と市のかかりわりや公民館がどういう存在なのか、単純明確にわかり、自治会活動にもっと参加しようという雰囲気づくりが今後必要になると思います。自治会活動や人員を増やすために、皆さん大変な思いをしていますので、明るくわかりやすいものがあればよいなと思っています。	<p>確かに、自治会の活動内容や存在についてよくわからないというのは全国的にも言われている問題です。移住者や若い方などは自治会の実態をわかりかねている人は多いと思います。</p> <p>自治会のことを知ってもらうというのは、行政だけでなく自治会の方と一緒に図などで示す方法のお手伝いをできるのではないかと思っています。また、回覧板に紙を使っていますが、全国的にはLINEなどのSNSを活用している場所もありますので、行政でも可能な範囲での支援をできるのではと考えております。</p> <p>現在、担当課においても全国的な事例等を集め研究しており、何らかのお手伝いができるように取り組んでまいります。</p>
5	固定資産税の納期限が5・7・9月になっており、年金生活している私は支払いが難しいです。納期限を年金受給月に変えることができないでしょうか。納期限を過ぎてしまうと督促手数料80円を支払わなければいけません。	固定資産税は4期5・7・9・12月の4回でお支払いいただく形になっておりますが、納める月は条例で決まっています。年金受給者にとっては、偶数月の方が都合がよい方もおられますか、納期限を変更することは難しいです。ただ、お支払いの相談は収税課にご相談いただければ対応できます。また、督促手数料は今年度から廃止になっています。

6	<p>市からの郵便物（簡易書留）をサインなしで受け取りたいです。市民課保険年金係に問い合わせた際は、窃盗の危険性もあるため、難しいと言われました。ただ、盗まれた後のことには警察の所管になるので、簡易書留ではなく普通郵便で送付してほしいです。市にとっても郵送料の節約になると思います。</p>	<p>保険証など個人に確実に届けなければならない郵便物を簡易書留で送付しています。重要な書類については、確実に届いたということを証するためにも簡易書留で送付しており、普通郵便で送付することは対応できませんので、ご了承ください。</p>
7	<p>各種団体ありますが、なかなか活動・ボランティアに参加いただける方が増えません。共助意識が希薄化しているのではないかと感じております。</p> <p>市が行うのは公助、自分で自分を助けるのが自助、地域で皆さんをお助けするのが共助です。お互いに助け合いながらやっていくのが必要な時代になっております。市にだけお願いするというのは不可能です。大きな面で行うのが市、その方向に向けて自治会で行うのが共助です。ぜひ、ご理解いただきながらやっていきたいと思っていますが、なかなか手助けするという方が少ない。</p> <p>このまま放置しておけば、地域におけるコミュニティが崩壊してしまうと思っていますので、皆さんの意識を改革できる手立てや誰もが参画できるようなよい方策を市にも考えてもらい、提示してもらいたい。そのあたりを意見交換できればと思います。</p>	
8	<p>自治会で役員をする人が少なくなっています。要因としては、役員になるとプレッシャーなどもあり、任意団体なのでそもそも市とは関係ないはずですが、防犯、募金、ゴミ置き場の管理など色々市と関わってきます。</p> <p>例えば募金活動については、会員2,000円、一世帯500円と書いた依頼だけがきます。集め方の記載はなく、各自治体任せになっています。自治会によっては、集めるのが大変なので、自治会費から出す場所もあります。こういったことが、いくらボランティアであっても役員の方の負担になってしまってはいけないと思います。</p> <p>市などから届く文書は全て一律の内容で届き自治会の判断に全て委ねられていますが、少しでも自治会の負担が減るようにえていただきたいと思います。</p>	<p>赤い羽根、赤十字の募金や社協の会費など、それぞれ各地区で集め方は様々だと思います。私の地元の竹内町自治会では、封筒を回覧し支払うかは個人の任意で集める形です。それが難しい自治会は、自治会費で支払うところも確かにあり、色々なやり方があります。</p> <p>募金一つ取ってもそれぞれの自治会のやり方でされると思います。自治会のコミュニティの面で言えば、中浜地区もつながりが強い地区だと思います。竹内町もつながりが強い方ですが、世帯数が多く620世帯ほどありますので、各正副会長から総務部、文化部、福祉部、体育部とそれぞれ部長・副部長があり、部員数も多くいます。また、青壮年部もあるので各部の活動を手伝ってもらっています。事業もスポーツ、文化、福祉など実施する体制ができています。役員だけで実施すると負担が大きくなるので、できるだけ各自治会で部員を多くして活動できるようになれば、もっともっとコミュニティが強くなるのかと思います。ただ、これは竹内町の事例であり、世帯が少ない自治会では難しいかもしれませんので、色々と工夫しないといけないと思います。</p> <p>先ほど総務部長が言ったように、先進地の事例を紹介していくとともに、毎月の正副会長会でもよく話していきたいと思います。</p>

9	<p>弓ヶ浜サイクリングコースの財ノ木町地帯にある美保展望台に民間の活力でカフェを誘致することを要望します。</p> <p>風光明媚なところのカフェで優雅な時間を過ごしてもらいたいと思いますが、そういうところでは規制されていることが多いです。この場所も鳥取県屋外広告物条例で規制された場所になっており、なかなか難しいとは思いますが、関係部署の見解をおたずねします。</p>	<p>【市長】</p> <p>原則、営利である場合、展望駐車場を所管している県は許可をしません。また、砂浜を所管している国も許可をしません。</p> <p>ただ、ウインドサーフィンのクラブハウスは営利目的ではないので国の占用許可を得て設置しています。展望駐車場から弓ヶ浜・大山は日本一の景色で、そこにカフェというのは非常によい案だと思いますが、許可が下りません。</p> <p>なお、キッチンカーの場合は、保健所の許可だけできますが、土地の使用にやはり許可が必要になります。駐車場の一角などをキッチンカーが営業できるようにできないかなどは、県や国に話ができると思います。建物はハードルが高いですが、土日だけ・イベントの日だけなど検討してみたいと思います。</p> <p>【建設部長】</p> <p>屋外広告物につきましては、該当箇所はお見込みのとおり県の屋外広告物条例で規制対象となっております。ただ、自己所有物件の店舗については、自家用広告物ということで表示面積10平米以下であれば許可が出ることになっています。</p>
---	--	---

3 外江地区(令和5年5月17日(水))

番号	質問の内容	回答
1	小学校から西灘神社までの通学路にある電柱はどうにかならないでしょうか。外江小学校から西灘神社方面に200mくらい進んだところ右側にある電柱ですが、救急車・消防車など緊急車両など曲がる際にかなり速度を落とさないといけません。また、道路を挟んで反対側にあるひさしに当たることもありました。緊急時にゆっくり走らざるを得ないし、夜間は更に危険になるので、電柱を少しでも移設できないでしょうか。	<p>【建設部長】 電柱移設については、通行の支障等になる箇所は、場所を確認の上、電柱管理者を含めて協議し対応を検討したいと思います。建物があるとなかなか移設できないこともあります、電柱管理者の中国電力とも現地を確認し協議したいと思います。</p> <p>【教育委員会事務局長】 全国では痛ましい事故が起こっておりますが、子どもたちの命と安全を守るために、見守り隊の方には雨、風、雪の日も子どもたちの安全を確保していただきありがとうございます。 教育委員会としましても、学校、教育委員会、PTA、自治会等と年に1回、通学路の安全点検をし、随時改修等行っています。お気づきの点がございましたら、学校や教育委員会の方にご連絡いただければ改善していきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
2	子育て支援について、黒見市長、中村市長、伊達市長と20年近く「子育てるなら境港」と言っておられるが、保護者の方に意見を聞いてみると、「境港には目も向けていない」というのが答えでした。以前は、境港に子育て・幼稚園を含め母親が市内に目を向いていましたが、この頃は全然向いていません。資料の中で保育園の新築工事について説明がありました、場所・施設含めて子どもたちの喜ぶ保育園を新築していただきたい。	<p>わたり保育園は同一敷地内に新築しますが、今よりも土地を広げ、近くにある森も借りて子供たちが十分遊べるスペースを確保する予定です。また建物についても、医療的ケア児を受け入れられる施設にする予定です。 しっかりと新築するものですので、子どもたちのことを考え、保護者の皆さんのお意見も取り入れよい保育園にしたいと思います。</p>
3	①中央墓園西側植込みの木が繁茂し過ぎている。 ②ファミリーマート上道店南側の木が道路の中央辺りまで伸びている。 ③BIC北側の公園のトイレ周りの植栽が伸びすぎている。 ④学童の道路の白線が片側しか整備されていない。 ⑤2年前、市民体育館前の歩道に穴がありケガをした。 ⑥平田組の辺りの歩道が途切れているが、そこから道路まで草木が出ている状態。	<p>【建設部長】 場所等が多いため、終了後に詳しく聞かせてください。できるものはすぐに対応いたします。</p> <p>【市長】 海岸沿いの公園は管理者である境港管理組合に手入れするよう伝えます。市所管の中央墓園は、樹木はすぐに剪定しますし、薄くなった白線も塗り直します。ファミリーマート南側は民地になりますので、所有者に管理するよう伝え、対応されず道路通行に支障があれば市で道路にはみ出た木を切りります。 市でも道路パトロールをしていますが、全てを把握できるわけではありませんので、気が付いたらすぐに市までご連絡いただければと思います。</p>
4	令和3年7月の豪雨の際、浸水した側溝近くの住宅では冠水して自動車が廃車となりました。その箇所の浸水対策をできるだけ早く対応していただきたい。側溝が狭く、天皇道路の下を通っているため管を広げるのは難しいかと思いますが、1時間80ミリの大雨が降ればまた同様の事態になると思います。現在対策として、建設部に排水ポンプを設置してもらい、自治会で対応できるよう訓練もしていますが、早く側溝を広げてもらえればと思います。	<p>令和3年の豪雨のあと、すぐに浸水対策の出前講座を、昨年11月には排水ポンプの訓練をさせていただき、自治会での積極的な浸水対策への取り組みありがとうございます。</p> <p>今回浸水した側溝は、喫茶カサベラの所から西に進み、途中から北側、境水道方面に流れています。今年度から令和7年までの間で喫茶カサベラの辺りから天皇道路も含め水路の整備を予定しております。側溝を広くするだけでは効果が限られていますので、最終的には境水道の樋門の所にポンプ設置するかを含め検討し、浸水軽減を図っていきます。</p>

5	<p>例年市民運動会の翌週に自治会で溝川清掃をしております。先日自宅周辺の側溝の堆積物を確認したところ、2~3センチ程度だったので、今年の溝川清掃は実施しませんでした。</p> <p>この溝川清掃は非常に危険な作業です。側溝の蓋を外すのに65歳の私と外江の72歳になる女性の二人のほか、高齢女性だけを行っております。蓋を外す際に倒れてくる危険性もありますし、できればやりたくない。定期的な実施は困難を極めているため、業者等による対応をお願いしたいです。</p>	<p>側溝の蓋を開けるのは大変な作業で、手を挟んだりする危険もあります。側溝清掃は市民生活部も関係しておりますので、連携しながら対応を検討します。該当箇所などを言つていただければ市で対応したいと思います。</p>
6	<p>外江東地区自治会の大半が該当しますが、合銀境西出張所から派出所の間にあるケヤキの枝が強風時に折れて飛んでくる危険性があります。できる範囲で枝を切ってもらえばと思いますのでお願いします。</p>	<p>外江地区の皆さんには、平成23年から毎年11月のケヤキの一斉清掃にご協力いただきありがとうございます。</p> <p>天皇道路のケヤキは市内でも一番大きい木になり、倒木などで通行人や車に当たると大変危険です。日常パトロールで枯れ枝など危険な枝なるべく早く発見し対応したいと思います。</p>
7	<p>今年の大雪の際に、小中学校が休校になるのか前日までわかりませんでした。結局中学校は1時間遅れ、小学校は通常通り授業が行われました。</p> <p>多いところでは積雪が50センチほどあり、中学生は車道に出て通学、小学生は通学できる状況ではないと思いました。このような状況下で登校するという判断は正しかったのでしょうか。</p>	<p>【建設部長】 1月の大雪の際、2回ほど降雪の波がありました。歩道の除雪は15センチ以上積雪があった際に実施するようにしていますが、1回目の除雪が完了した後に再度大雪が降ったため、対応が間に合わなかった部分があります。今回の大雪を教訓に、今後の除雪の順番等を検討していきます。</p> <p>【教育委員会事務局長】 1月の大雪の際には大変ご心配をかけしました。 大雪前日の教育委員会と学校の協議の中で、さほど降雪はないだろうと見込み、通常通り授業を実施する方針を決め、保護者の皆さんにもマチコミを使って連絡しました。しかし、夜半過ぎから予想以上に降雪があり、登校時の対応が朝になってしまいました。 市内9校各地区で状況が異なることもあるため、最終的には学校長の判断で緊急時の休校措置等を決めることがあります。おっしゃられるとおり、子どもたちの安全が第一なので、教育委員会でも学校とともに対策を検討していきます。</p>
8	<p>三中の自転車置き場はいつできるのでしょうか。二中は全生徒分の自転車置き場が整備されており、全員自転車通学が可能です。一方三中では、自転車通学が認められているのは全生徒の3分の1程度です。今年度、三中の自転車置き場の設計の予算をつけていただきましたが、完成まであと何年くらいかかるのでしょうか。</p>	<p>今年度設計、来年度工事となりますので、最短で来年度完成予定となります。</p>
9	<p>三中校区の学校運営協議会の委員をしておりますが、コミュニティスクールで活動しようと思った際、現状は予算がついておりません。そのため、寄附を募るなどして活動している状況です。現在は、渡・外江各小学校のPTA会費から活動費を出してもらっています。今後、市として活動費の予算をつけてもらいたいです。</p>	<p>コミュニティスクールということで、地域の方と一緒にした学校づくりにご協力いただき感謝しております。特に外江地区は、運動会での協力や公民館に中学生のブースを設置するなど子どもたちの活躍の場所を作っていました。</p> <p>市では三つの中学校区単位でコミュニティスクールに取り組んでおり、その活動費を教育委員会の中で予算化しており、各地区に充当しています。イベントなどを行う際には、かなりの費用が必要になると思いますので、ご相談させていただきながら進めていきたいと思います。</p>
10	<p>外江地区にはグランドゴルフのグラウンドがありません。西灘神社の荒れ地のところで20人くらい集まってやっている状況です。育成保育園の南側の市有地をグランドゴルフ場として整備していただきたいです。</p>	<p>今ご要望いただいた育成保育園の南側の市有地は、昔に道路整備用地として市が購入した箇所です。これとは別に、わかまつ幼稚園の跡地をグランドゴルフ場にしてほしいと自治会要望であがっております。現在その幼稚園跡地は物置として倉庫代わりに使っており、その用途がなくなり次第、グラウンドゴルフ場を整備する方向で検討しております。</p>

II	市報5月号の人口の欄を見ると、200人弱、市民が減少していました。これだけの人口が減るのは、今までなかなかなかったかと思います。境港の人口がどんどん減ってきているのはどういうことでしょうか	境港市の人口は、昭和60年の38,000人強がピークでした。その後、少しずつ人口が減って、最近は減少幅が大きくなっています。今は新型コロナの影響を少なからず受け、出生数が3年連続200人未満となっています。転出入などによる社会減は大きく変わりませんが、自然減が多くなっているため、出生数が多くなるように努めているところです。
----	--	--

4 渡地区（令和5年5月22日（月））

番号	質問の内容	回答
1	<p>4月16日にダイヤモンドプリンセスが寄港し、多くの乗客に水木しげるロードに来てもらいました。乗客とロードを案内しながら話した中で、「酒田港と金沢港の歓迎ムードが凄く、高校生が英語の勉強を兼ねた着付け教室などもあった」と言っていました。</p> <p>境港については、「温泉地に行きたいが水木ロード経由してからだとJRで米子までいかないといけない」、「食べるものの、名物料理を食べるのにどこに行ったらよいかわからぬ」という声がありましたので、露店を増やすなど、境港管理組合に勉強してもらいたいです。</p>	<p>クルーズ船について、酒田港・金沢港におもてなしを負っているのではということでした。乗客の皆さんに境港を含むこの圏域の情報が届いていない部分もあるので、寄港するクルーズ船に温泉施設、交通手段、食事処など情報を発信したいと思います。</p> <p>おもてなしは、松江の高校のプラスバンド・吹奏楽部がいつも歓迎してくれているなど、しっかりやっていますので、負けないようにしたいと思います。</p>
2	美保基地通信所北側の三軒屋町に向かう道路の水はけが悪いです。雨が降ると1週間程度水が引かないで改善してほしいです。	美保基地通信所北側の道路は、昨年から道路の路肩清掃を入念にするようになり、若干改善されました。側溝がなく水が抜ける場所がない状況です。ある程度時間が掛かるかと思いますが、清掃等で少しでも改善するようにしたいと思います。
3	渡保育園は同じ敷地で改築予定ですが、面している道路が非常に狭いです。他の広い場所で建て替えた方がよいのではないかでしょうか。	今の現地で敷地を拡張しながら、工事中周囲にもご迷惑をお掛けすると思いますが、しっかりと配慮して建設したいと思います。
4	市内に産婦人科がないので、そちらにも予算付けはどうでしょうか。	済生会病院が産婦人科を廃止してから、一番近いのが米子市の長田産婦人科や内浜にある医院になります。産婦人科は産婦人科医3人、麻酔科医3人、新生児小児科3人の計9人が365日24時間体制で必要であり、米子の医院でも大学病院の手助けを受けながら運営している状況です。現状、産婦人科医が不足する中で境港市に作るのは難しいので、ご理解ください。
5	境港駅前にある中海圏域の看板が色褪せており、観光客に案内しづらくなっていますので、改修をしてください。	駅前の中海圏域の観光案内の看板は手直しが必要だと思います。
6	渡小学校のグラウンドは芝生化されて水はけがよいのですが、少年野球用の内野グラウンドは芝生化されておらず水はけが悪いです。以前、プール横に真砂土を入れてもらいましたが、使ううちに真砂土が減り、中から2~3センチの粘土層が表出し滑って危険です。市で内野グラウンドの粘土層を除去し、新しい真砂土を入れてほしいです。	芝生化はグラウンドを保湿して土が舞うのを予防するのも目的の一つですし、けが・ほこり防止なども目的です。土を入れるのはかなりの経費を要し、学校に配分されている予算だけでは難しいかもしれませんので、市全体で優先順位をつけながら検討したいと思います。
7	子育て世代で小・中・高の子供がいますが、中学校でも多様な性への配慮で制服のブレザー化も検討されるかと思います。今まである制服であれば、兄弟や保護者同士つながりでお下がりを使えましたが、新しくブレザーを作るとなると共有できなくなり、高額にもなります。また、市内の違う校区に引っ越した場合にも再度購入が必要になります。なるべく費用が掛かりにくい制服にすることや、制服購入時の補助について、ご意見をお願いします。	<p>【市長】 制服のリユースは、境港市社協が制服を集めて必要な方に提供する事業を行っています。</p> <p>【教育長】 性の多様化に対応するため、一中で制服をブレザー化しました。どうしてもスカートを履けない女生徒もいますので、基本的には男女ともスラックスをベースにし、希望する場合はスカートでもよいとしています。</p> <p>金額的なこと・補助の可否など、今検討している二中・三中について、制服の要否も含め、地域の方や学生の意見を聞きながら検討していきたいです。</p>

8	<p>各施策が何を目的にされているのか、少しわかりにくかったと感じました。具体的には「地域資源を活用した本格的な賑わい回復」とは、どういう状態を目指しておられるのでしょうか。例えば観光客が何万人、人口の増加、収税の増加など、色々な指標があると思います。各種施策が掲げられていますが、施策をやることが目標になっていないでしょうか。また、令和5年度はどこまで賑わいを取り戻す目標でしょうか。</p>	<p>本格的な賑わいの回復について、例えば、漁港で言えば高度衛生管理型漁港を整備し、魚がたくさん上がったり、イベント開催すれば水産関係者が忙しくなり賑わう。水木しげるロードで言えば、2019年は300万人観光客が来ましたので、同程度観光客が来れば、街・店とも賑うことになります。クルーズ船も50回、60回寄港し、6万人の乗客が境港市に来れば、港も人で賑わうということです。</p> <p>現時点では、クルーズ船も全盛期の半分、飛行機も国際定期便はまだ再開していないため外国人観光客はゼロです。そういったものが復活して、人がどんどん来るようになり、受け入れる側も忙しくなって賑わうを目指しています。</p> <p>また脱炭素については、4年前に海水温が2~3度上がったため漁獲量が10万トンから8万5,000トンまで落ちました。地球温暖化や海洋プラスチックごみは、境港市の基幹産業である水産業に非常に大きな影響を与えるため、海洋資源を守るために、脱炭素の取り組みをしています。</p> <p>令和5年度の目標については、総合戦略上、水木しげるロードは年間200万人の観光客を維持すべく取り組みを進めております。</p>
9	<p>私の息子に子どもができ、転勤族で市内のアパートに住んでいます。自治会に入っていますが、市の各種施策など市報を通じてわかりますが、転勤族のため自治会に入っています。そういう人に対して、どこに市報が設置してあるかなど周知を考えてほしいです。</p>	<p>若い人々はスマートフォン・パソコンを活用しホームページやSNSで市の情報を得るかと思います。ただ、どこにアクセスすべきかの情報が行き届いていない部分もあります。転入した際に市民課から市報がどこで入手できるかなど案内を徹底していきます。</p>
10	<p>最新の市議会の広報誌で、議員の「公民館に太陽光発電設備を設置できないか」という質問に対し、市長が「発電機で対応する」と答弁されたとありました。発電機はCO2を排出するため、脱炭素の観点からは太陽光発電などに設備投資した方がよいと感じました。</p> <p>また、市議と語る会でも話しましたが、渡町内に太陽光発電設備が設置されたが、売電目的と聞いています。災害時などにそこから病院や高齢者施設など、緊急に電気が必要な場所に電力供給できないのでしょうか。</p>	<p>脱炭素先行地域づくりの事業を行う際に、公民館への設置も検討しましたが、災害協定を締結している企業から非常用発電機を設置させてもらう方が運用・費用の面でよいという結果になりました。太陽光発電による再生可能エネルギーを使って公共施設の電気を貯い、脱炭素化するという事業を考えているところです。</p> <p>渡漁港南側の太陽光発電所は、公共施設に発電した電力の一部を使い、余剰分を売電する計画にしております。なお、緊急時に高齢者・介護施設に送電することはできません。各施設において、非常用電源設備等をしっかりと対応されているはずです。</p>
11	<p>みなとテラスのエレベーターの位置が分かりづらいので、わかりやすく表示できないでしょうか。</p> <p>また、ホールの左右で男子トイレと女子トイレが分かれていますが、知らない人は行ったり来たりしています。多目的トイレがあるので、どちらでも利用できますという看板があった方がよいと思います。</p>	<p>みなとテラスはエレベーターの位置がわかりやすいよう、何らかの工夫をしてみようと思います。</p> <p>また、トイレも男女で左右わかれていますので、誰にでも優しい、障がいや年齢に関係なくジェンダーを意識した運用ができるのか、今一度教育委員会で検討し、早急に対応したいと思います。</p>
12	<p>荒廃農地の木をバイオマス発電所で利用できないでしょうか。</p>	<p>荒廃農地はそれぞれ所有者がいるため勝手にはできないですが、荒廃農地対策で5~6年で早く育つ木を植え、市内で林業をして荒廃農地対策ができないか、研究しようとしています。</p>
13	<p>各公民館に文化財の位置を案内する看板を作ってはどうでしょうか。</p>	<p>以前A5版サイズの文化財ハンドブックを教育委員会で作成しておりますので、活用できないか教育委員会内部で協議してもらいます。とても詳しく記載されており、それを見て市内探索できる形になっております。</p>
14	<p>渡新港ができましたが、一度もお披露目がありません。何かの形でお披露目できないでしょうか。</p>	<p>お披露目をしなかったのは配慮不足でした。アピール不足でしたが周辺の方はよくご存じかと思います。</p> <p>埋め立てたところの整備計画ですが、ポンプを今年度設置完了になる予定です。今後地盤造成を2~3年かけて行う計画となっております。</p>

15	はまるーぷバスについて、三軒屋町から岡田商店を通るようになっていますが、メインコースであれば渡町から夕日ヶ丘通って空港に行くコースにした方がよいと思います。	毎年地域公共交通会議を開催し、はまるーぷバスのルートを変更しております。また、コロナの影響で令和元年12月から実施できていなかった乗降調査を今月下旬から職員が実施する予定としております。それを踏まえて、ルート変更も検討したいと思います。
16	米子空港の駐車場を立体駐車場にするよう鳥取県に要望してほしいです。雪で出られない人も多くいますので、その対策にもなります。	鳥取県と協議した上で米子空港駅の方に平場の駐車場を作った経緯もありますので、立体駐車場の整備は難しいです。
17	防災行政無線の声をたまには女性にしてほしいです。	試験的に女性に放送してもらったこともありますが、防災危機管理課に男性の職員しかいないこともあり、男性の声に落ち着きました。
18	子育て支援について、同じようなことを全国各地の自治体で実施されています。本気で移住や転入を増やすのであれば、単にお金・支援だけではなく、保育所が近くにある、幼児一人当たりの面積がどれだけある、固定資産税はこれだけなど、子育てに関わるあらゆることをアピールすることが必要だと思います。	ありとあらゆる情報発信することは非常に大事だと思います。境港の有利なところをしっかりと情報発信し、広報していきたいと思います。
19	高齢者施設について、実に立派な介護施設が市内にあります。少子化対策も大事ですが、高齢者施設をどんどん誘致して、境港市を高齢者の街にしてはどうでしょうか。また、二中周辺の耕作放棄地が森のようになっており、あれを活かして代々木公園のように大きい公園を整備し、それを取り囲んで高齢者施設と保育園が並ぶ街にしてはいかがでしょうか。	高齢者施設については、施設を嫌がる方や収入面で難しい方もいます。高齢者施設を誘致した方がよいのか、地域で高齢者の方を見守りながら、支え合いながらがよいのか、バランスを見ながら民間の事業者とも考えたいと思います。

5 余子地区(令和5年5月29日(月))

番号	質問の内容	回答
1	平成27年頃から市長と語る会、市民と議会の懇談会、子ども見守り隊の意見交換会の全てに参加・意見を述べていますが、ほとんど議事録が残っていません。意見の内容は、子ども見守り隊の活動と存在についてです。くれぐれも議事録を残していただくようお願いします。	市長と語る会の議事録は、全地区終了後、質疑応答・対応方針など全てHPIに掲載する予定です。自治会の正副会長会などでも配布するようにしたいと思います。
2	市報で防災危機管理課の交通安全指導員募集の記事を見ましたが、見守り隊活動の中では該当の方を見たことがありません。交通安全指導員と見守り隊どう違うのでしょうか。	交通安全指導員は、交通安全運動期間中の協力がメインになりますが、見守り活動も自身の判断で実施してもらわなければありがたいです。登下校中の見守りは大切な活動の一つなので、改めてできる範囲ではありますが、指導員の皆さんに周知・徹底をしたいと考えています。
3	私は平成27年秋頃から小学1・2年生の登下校時の見守りを毎日続けています。この間、見守り隊の人員確保の手段を考えてほしいと訴えてきましたが、いまだに解決に至っていません。 令和元年11月の見守り隊意見交換会で当時の教育長から「機会を捉えPTAに話をすると」答えていただいたが、その後進展はありません。令和4年11月の市民と議会の懇談会でも回答いただいたが、期待した回答ではありませんでした。 令和5年4月6日の日本海新聞で、県内の過去10年間の歩行中の事故は、下校時間帯の小学3年生までが6~7割を占めるとありました。私たちが子どもを守らなければいけない理由は、かつて子どもとして大人から見守られながら成長してきた歴史があるからです。ボランティア活動のあり方には、色々な考え方があると思いますが、どうかコミュニティスクールの推進と併せ、具体的な考え方をお示しください。	見守り活動を継続していただきありがとうございます。見守り隊の皆さんには、子どもの成長を見守りながら安全を確保してもらっています。この支えがあるからこそ、子どもたちが各地区で安全に色々な活動に取り組むことができます。 人員の確保については、後継者が見つからず妙手がないのが現状です。提案いただいたようにコミュニティスクールや地域学校協働活動の中で、取り組みの一つに見守り活動を加え、地域みんなで見守ることを継続していく体制を作っていく必要があると思います。 「これができる」という回答は難しいですが、見守り隊を続けるやり方・アイデアを地域の方々、学校職員などと模索していきたいと思います。

4	<p>5年前に中学校の隣に小学校を建設し、中浜小学校・余子小学校地区で小中一貫教育を10年後(H39年)には実施したいという話でしたが、その後の計画・進捗はどうなっていますか。</p>	<p>【教育長】 平成29年に境港市における学校再編最終答申が出され、第一段階として誠道小・余子小が合併し、少人数・複式学級の解消を目指しました。現在は第二段階として、小中一貫校、義務教育学校も視野に入れながら、人口推計を基にした20~30年先の未来の学校をどのように描くのか協議を進めているところです。大まかな案では、コミュニティスクールを軸にした学校づくりで進める、耐用年数に達していない既存の校舎を活用し、分離型の小中一貫校を進めていくとしています。その後、併設型の小中一貫校または義務教育学校を作つて同じ施設で一緒にしようと考えています。分離型の小中一貫校であれば、準備が整えば早ければ2年後にはできると思います。最初は、校舎が余子・中浜別々ですが、バスなどを使って交流の学習を進め、その間に二中の隣に校舎を建設できればよいと考えています。</p> <p>【市長】 私の理解では、平成29年の学校再編の際には、早くても10年後には統合型の小中一貫校で実施したいという教育委員会の方針だったと思います。ただ、校舎は別々でも小中一貫教育を先に進め、人口推計も見ながら中学校3校維持、または2校にするかなど、色々な案を現在教育委員会で作っているところです。一番よいのはどれなのか、叩き台を地域の方々に提案、話し合った上で決めたいというのが教育委員会の考えです。 今は、コミュニティスクールを軸にした教育面で子どもたちを一貫して育てるという考えですので、今しばらくお待ちください。</p>
5	<p>令和4年度の自治会要望を出していましたが、側溝・マンホール脇のアスファルト沈下が激しく転倒の危険や水が溜まつたりしています。砂の埋戻工法ではなく、クラッシャーラン(碎石を混ぜて沈下を防ぐ)という工法の方がよいのではないかでしょうか。</p>	<p>現在市が行っている工法は、穴を掘った際に出る砂を使って埋め戻す工法で、提案いただいた工法は、真砂土や碎石を混ぜて埋め戻す工法です。どの工法を使うにしても、地盤を締固めする必要があります。平成12年の鳥取県西部地震があった際、液状化が発生したこともあり、工法について色々と協議した結果、施工時には締固めする方針となっており、業者の方にも徹底するように言っています。おそらく、沈下している箇所は平成12年より前に施工されたものだと推測されます。</p> <p>仮に掘った土を使わない場合、土・碎石等を購入する必要があり、コストも高くなりますので、今のところは現状の工法を変えない予定です。</p>
6	<p>鳥取県東部の山間部でスーパーなど店がなくなり、住民は買い物に非常に困っていることから、県では買い物支援の一環で、移動販売車の購入補助を設けているようです。</p> <p>境港市の買い物支援はどういう方針でしょうか。福定町・竹内町・渡町には、市内業者が移動販売で来ていますが、その業者の話では品物の出し入れが苦痛とのことでした。福定町だけでも机を5脚出して準備する必要があります。町内の移動販売1回辺り13人くらい利用者もあります。これから高松丸合が閉店すると更に買い物に困る方が増える可能性があります。</p> <p>移動販売をしている市内業者に対し、助成することはできないでしょうか。</p>	<p>移動販売をされている市内業者は、毎週水曜日に福定町で実施されています。以前、議会で移動販売を新たに整備する場合の助成について質問がありました。その際にも、鳥取県の助成制度があったのですが、市内業者が島根県でも移動販売をしているということで助成対象外となっていました。ただ、現在は助成制度が改正され、県外で移動販売している場合でも助成対象になったという話もありますので、鳥取県・市内業者とも協議をしながら、助成を検討したいと思います。</p>

7	<p>先日、日本海新聞に鳥取県内でふるさと納税が多い市町村上位5位までが掲載されました。なぜ境港市がないのでしょうか。日本全国で力を入れている自治体が多くあり、米子市も素晴らしい実績を残しています。境港市は何か対策をしているでしょうか。私は以前関東に住んでいましたが、「東京かしのは会」など活用してはどうでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、境港市は県内の上位他市町村まで到達できていない状況です。これを打開するため、市の直営のカタログやHPを楽天市場、ふるさとチョイスなど、色々なサイトでPRする取り組みをしています。また、境港市へのふるさと納税を運営費にも充てられますので、PRのノウハウを持った県外事業者にも委託し、魅力的な返礼品の見せ方や境港市の返礼品がネット上で見られるよう工夫を続けています。</p> <p>また、米子市ではマッサージチェア、皆生の高級宿泊施設など、高額商品も返礼品として展開されていますが、境港市でもマッサージチェアや伯州綿の布団セットなどの展開もしております。</p> <p>東京や東海、関西の県人会のイベントもあり、会場でパンフレットを配布したりPRはしておりますが、さらに一歩踏み込んだ、各団体に働きかけるような取り組みを強めていきたいと思います。</p>
8	<p>新型コロナ以降、道路整備がされていない気がします。431号線がガタガタです。また、渡町のベタ踏み坂東側の丁字路、米子方面に向かう右折レーンが酷い状態です。市内だけではないですが、全体的に道路整備がされていない気がします。</p> <p>あと、余子駅近くの踏切ですが、一時停止して左右を見ようとしても土手のせいで何も見えません。何のために一時停止しているのかわからない状態です。少しだけでも改善してほしいです。</p>	<p>431号線は国道になり鳥取県が管理していますが、市も日常点検をしております。舗装が痛んでいるなど、依頼があれば県に伝えますのでご連絡ください。また、431号線は福定町のファミリーマートの辺りを舗装補修工事をこれから実施する予定しております。</p> <p>道路補修は毎年実施しておりますが、酷いところはすぐに応急処置しています。ただ、大きい道路だと設計が必要になり時間が掛かります。優先順位をつけて対応しております。</p> <p>ベタ踏み坂の丁字路のところは、よくトラックが止まって轍ができたりします。この県道交差点については、令和7年までに補修予定となっています。余子駅近くの踏切については、よく見て確認いたします。</p>
9	<p>見守り隊だけの意見交換会をぜひ再開していただきたいです。</p>	<p>ご意見しっかりと承りました。</p>
10	<p>市長が力を入れておられる空き家・空き地対策について、毎年空き家・空き地の調査結果を都市整備課に提出しております。先日、都市整備課次長が来られた際、地域と市役所で協働でやるべきことを一緒に取り組むと空き家対策になるのではと提案いたしました。一緒に取り組むことで、どのようなことができると思うか、意見を伺いたいです。</p>	<p>【建設部長】 現在、市で把握している空き家が市全体750件程度、竹内町94件、余子地区120件ほどです。空き家は放っておくとどんどん増える一方なので、市としても力を入れています。令和2年度に市で空き家対策プロジェクトチームを作り、翌年度には専属の部署として空き家対策推進室を設置し取り組んでいるところです。</p> <p>ただ、竹内町が調査された結果を市に提供してもらっても、その結果を自治会に返せていない状況がありました。今後は途中経過なども情報共有しつつ、1件1件対応していきたいと思います。</p> <p>【市長】 市役所と自治会がどういう連携ができるかということで、現在市で困っているのが、空き家バンクに所有者の方が登録をしてくれない点です。そのため、自治会においては、空き家バンクへ登録するよう後押しをしていただきたいと思います。また、年度途中でもよいので、空き家が発生しましたら逐次市に伝えていただき、市からも空き家バンクへの登録勧奨したいと考えています。自治会と市で連携を密にし対策をしていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p>

6 境地区（令和5年5月31日（水））

番号	質問の内容	回答
1	おさかなロードのオブジェ30体のメンテナンスについて、設置から10年経過し、年々色が抜けたり、ヒレが落ちたりしています。おさかなロードはNPO法人がやっていることは承知していますが、このままメンテナンスされなければ、色褪せてヒレが曲がったみすぼらしいオブジェが路上に並ぶことになります。 この状況について、NPO法人に対しメンテナンスするよう注意・指導する考えはないでしょうか。	おさかなロードのオブジェのメンテナンスについては、元気みなとがどうされているか把握しておらず、相談もありませんが、市の職員が訪問の上話してみたいと思います。
2	結婚で5万円、妊娠・出産で5万円の給付をしておりますが、桁が1～2足りないように感じます。	経済的負担の軽減が足りないという意見であります。財政状況等加味しながら検討したいと思います。
3	各地で防災の講演会、研修会等されていますが、鳥取市などの遠方に往復4時間掛けて行っても、補助金の助成がなく出席しない人もあります。遠方の講演会等に参加する際の補助金等を検討していただけないでしょうか。	遠方への講演会の助成がないとのご意見について、自主防災組織に対する支援はしておりますが、防災士や個人の方への支援はやっておりません。資格取得助成を活用して市内に防災士の75名いますが、防災士の連絡協議会や横のつながりを強めつつ、支援が必要であれば意見を聞きながら研究・検討を試みてみます。
4	北海道の紋別市が境港とほぼ同じ人口です。その紋別市は、北洋漁業の基地であり、鴻之舞金山で栄えていましたが、200海里規制で漁業が衰退し、金山も廃止されました。その状況下で30年以上続いているのが、北方圏国際シンポジウムというものです。アメリカ、カナダ、ノルウェー、ロシアなどの専門の学者を招いて開催しております。オホーツク海の流氷科学館や碎氷観光船も活用しております。一度市として紋別市が何をやっているか視察したらどうでしょうか。境港市の参考になると思います。	紋別市が流氷などの地域資源をしっかりと活かしているところを見習い、調査も行って境港市でできることを考えみたいと思います。
5	クルーズ船は隠岐汽船乗り場には接岸できないですか。境水道大橋の下を通るのも面白いですし、商店街が近く、経済効果もあると思います。	境水道は水深マイナス1メートルの航路なので、1万トンクラスのクルーズ船ならば入港できるのではということだと思いますが、海外のクルーズ客船は、入国の審査や税関の検査が必要になり、夢みなとターミナルでないと対応が難しいと思います。小さい船も難しいとは思いますが、境港管理組合に聞いてみます。
6	ゼロカーボンについて、2050年にゼロになると国などでも計画しております。あと27年という期間ですが、いつまでにどの程度削減するといった数値的な行程表はあるのでしょうか。資料には食品ロスの削減など色々ありますが、それだけで実現できるような行程なんでしょうか。	【市民生活部長】 市ではゼロカーボンシティ宣言都市として、2050年を目指して二酸化炭素の排出量をゼロにする目標を掲げていますが、このゼロというのは、排出量と吸収量を併せてゼロにするものです。各家庭での太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用を推進しながら、実質ゼロを目指すものです。 【環境・ごみ対策課長】 温室効果ガスの排出削減実行計画という、国が全国的に推進している計画があります。市では、この計画を今年作る予定にしておりまして、今年度中にその行程などを計画の中で定めていきたいと考えております。また、ゼロカーボンの期限まであまり年数がないんじゃないかというご指摘もありましたが、今米子市と民間企業と一緒に脱炭素先行地域に境港市は指定されており、これによって公共施設の二酸化炭素排出量をあと2,3年のうちにゼロにしていくというような計画も立てております。

7	<p>先ほどの市役所の回答でちょっと補足しますと、ゼロカーボン政策は国の政策ですから、国がある程度行程表を作っていくということになります。その中で境港市のやり方ってのは、ごみ対策とか、ブルーカーボンとかを取り組むということです。</p> <p>日本全体の二酸化炭素削減ということになると、国単位の問題でやる必要があります。また、今後自動車・データセンターなど非常に電気を使う社会になります。電気ですべてエネルギーを消費していくとなると、火力発電なのか、あるいは自然エネルギーなのか、それとも原子力なのか、この辺の決断を政府はやっていかないといけないと思います。</p> <p>従って、今の公共施設、例えば太陽光パネルや蓄電池を設置するだけでは、2050年のゼロカーボンには絶対ならないと思います。もっと大きな枠組みの中で日本人全体として考えていく、決断する時期に迫られていると私は思います。</p>	
8	<p>北極海航路ができると、日本海側が貨物船と国際航路のメインルートになると思います。その際には境港がメインの港になればと思います。また、メタンハイドレートについても検討ください。</p>	<p>北極海航路は地球温暖化によって、北極の氷が溶けて新しい航路ができます。北極海航路を使えばですねヨーロッパ近くなるという有利性があります。境港の方も貨物船が繋がるようになればというふうに思ってます。</p> <p>メタンハイドレートについては、国の方も調査をしています。まだまだ商業、実用化が先の話ですけれど、実用化になれば、境港も何らかの利活用ていきたいと思います。</p>
9	<p>空き家や廃屋を一軒壊す場合、市から60万円の助成金が出ると聞いたのですが、その助成金が出る期間はいつからいつまでなのか。それともこれからずっと適用させるのか教えてください。</p>	<p>空き家対策については、例えば、もう本当に壊れかけて崩れそうになっているものは、特定空き家と言って、以前から国の助成を使い、壊してもらっています。また、令和3年からは所有者の方が壊したいっていう時は、市で補助金60万円の助成をしており、5年間限定で政策を打てるところであります。今、解体を59件実施しました。さらに所有者の方が助成制度を使って解体を進めていただきたいと思います。</p>
10	<p>関連して、借地に家を建てて住んでおられる方が、亡くなってしまって、そういう場合は、特定空き家に該当するのでしょうか。相続される方の有無がわからないような、借地の廃屋は地主さんがやるんでしょうか。</p>	<p>【市長】 底地が地主さんで、家の所有者と名義が違うかもしれない場合のお話かと思います。基本は、建物所有者が壊さないといけません。ただ、所有者が不明だという建物については、所有者を探さないといけない。また、法定相続人がいない場合は、所有者なしとなります。ケースバイケースですが、その場合は壊すのが難しくなります。行政が壊す代執行もできますが、請求先がないわけであります。</p> <p>【建設部長】 令和5年度から所有者不明土地の解消に向けて、国の制度改正があり、市から裁判所に相談ができる制度になりました。所有者不明土地の空き家の対応で悩んでいる方がおられましたら、建設部の都市整備課にある空き家対策推進室に相談してください。</p>

11	<p>万が一、原発に何かあったときに、隣近所はほとんど年寄りばかりなので、自助・共助ができないです。具体的に、年寄りはどう避難したらいいか教えてください。</p>	<p>原発に限らず、いろんな災害等で不安ということだと思います。特に高齢の方がが多い地域ということだと思います。</p> <p>福祉保健部では、避難行動要支援者名簿ということで、民生委員さんにご協力いただきながら、避難に不安がある方は同意をいただいた上で名簿を作成し、支援者と要支援者をマッチングして災害時にお手伝いいただく仕組みもあります。</p> <p>防災についてもっと知りたいということであれば、原発も含めて個別にご説明いたします。また、地域の方でまとまって話を聞きたい人がいるのであれば、訪問して原発も含めて不安な部分を聞かせてもらい、こういう対応ができますとご説明しますので、ぜひご相談ください。</p> <p>今少し説明しますと、原発の例で言えば、詳しい地区別の状況ごとの行動を示したパンフレットを作成し市報に折り込んで配布しておりますが、そちらはご覧になったでしょうか。</p>
12	<p>原発事故時のパンフレットも見ましたが、おそらく渋滞等で避難が難しいと思うので、高齢女性はどこにどのように避難したらよいのでしょうか。指示があるまで家の中で待っていいのか。屋内退避も大丈夫か不安です。</p>	<p>原発は事故があってもすぐに避難ということではなく、原発の状況に応じてとるべき行動が定められていますので、それに基づいて行動いただきます。ご自宅が不安であれば、公民館もコンクリート屋内退避施設で放射線に強い施設になるので、そちらへ屋内退避をしていただきます。屋内退避している場所が放射線量の高い地域と特定された場合には、地区ごとに指定された場所に避難することになります。お車を持っておられない方であれば、鳥取県が手配するバスで鳥取市、岩美町、八頭町の方に避難するという仕組みになっております。</p>
13	<p>境港市は観光と移住に力を入れていますが、観光と移住のCMを作って、東京と大阪で放映したらどうですか。予算は一千万円ずつで1、2年やって、効果が出なければやめればいいんです。市内に空港があるので、東京と大阪からダイレクトで来れます。空港をもっと有効活用した方がいいと思います。</p>	<p>境港市の情報発信を都会地に向けてしていくというようなご提案だというふうに思います。SNSなどを活用してずっとPRしていますが、大々的にテレビのCMを活用するようなご提案でした。今後の研究課題として検討させていただければと思います。</p> <p>非常に費用も掛かりますので、費用対効果も含めて検討したいと思います。</p>

7 誠道地区(令和5年6月2日(金))

番号	質問の内容	回答
1	市道高松渡線の南側に樹木があり、現在1~3区の自治会で剪定をしています。1~2区は綺麗に剪定されていますが、3区にある樹木10本は住民の高齢化のため剪定が難しい状況です。行政で剪定してもらえないでしょうか。	市道高松渡線は、元々大きな松が植えられていましたが、地元からの要望を受け平成22~23年にかけて伐採し、歩道の拡張と現在の樹木を植えたところです。 整備から10年以上経って、樹木が大きくなり、高齢の方が剪定するのは危険が伴う状況となっています。 そのため、今後は高い樹木の剪定は市で行うこととしますが、背丈の低い草木の手入れについては、引き続き地元も皆様にご協力をお願いいたします。
2	今後、少子化が進み小学校が統合されいくと思いますが、その中で校区ごとに割り振られている青少年育成に関する予算について、どのように考えておられますか。統合によりこの予算が誠道・余子で一本化ということはあるのでしょうか。	公民館を1つの軸にして、子どもたちの育成や見守りをしています。予算面については、小学校統合によりその振り分けが地元にとってマイナスになつてはいけないので、子供たちにしっかりと目が届くような予算配分を考え、またご提示したいと思います。
3	誠道小学校がなくなって、みんなが街の方を不安に思っています。境港市で初めて小学校がなくなったので、今後どのようになるかわからない。また公民館がずっと残っていくのかそれも不安です。今の段階でも住民同士の協力が難しくなっており、公民館がなくなると誠道町は間違いなく崩壊すると思います。今後どうしていくのか考えていただきたいです。	公民館はなくしません。誠道公民館は地区のコミュニティの拠点であり、地域の課題を担う・解決する場所となっております。誠道の住民の皆様に利用してもらい、強いコミュニティを維持してもらいたいと思っています。
4	先日、中海テレビで誠道小学校の跡地利用について放映されていましたが、進展や市としての考え方を教えてください。	誠道小学校の跡地の利活用について、アンケートのほか、民間の方などからも色々なご提案をいただいていますが、やる人・プレーヤーがいない状況です。例えば、福祉関係で利用したらよいのではというご意見もありましたが、では誰がそれを行うのか、具体的なプレーヤーがいない状況が続いています。 また、建築基準法などの制限があり、民間の方が跡地を利用する際には国・県など色々な手続きが必要になります。そのため、市の所管課において利用希望者の方にどのような手続きが必要になるかご案内できる体制にはしていますが、具体的な案件にまでは至っていません。 ただ、現在跡地利用に強い意向を持っている方がおり、話を進めておりますので、熟度が上がった段階で皆様にご相談したいと考えています。
5	I区では五箇出川を一斉清掃しています。以前は、川沿いにツツジが植えられていたが、あまりにも本数が多くすぎて草刈りができないため、2~3年前に伐採して市に防草シートを敷いてもらいました。しかし、そのシートを突き破って草が生えたり、その草を刈るために上に乗った際に破れてしまします。草も刈れないし非常に醜い状況のため、コンクリートなどで舗装してもらいたいです。	令和2年9月に防草シート整備の自治会要望を受け、令和3年9月に整備をしたところです。今は、そのシートに穴が開き、草が生えて景観が悪く、シートが川に落ちる危険性もある状況です。そのため、現在市で防草シートの取り扱いを含め、除草する方向で検討していますので、もうしばらくお待ちください。
6	誠道町の西側に畠が広がっているが、高齢化により放置されている畠が多くあります。これから梅雨になると草に覆われ、十字路の見通しが悪くなったり、不法投棄の原因になります。現状を把握されていらっしゃるか、また、指導などしていただけないでしょうか。	【産業部長】 荒廃農地が草で覆われている場合は、所有者に電話・手紙等で連絡をし、支障にならないよう依頼をしています。ただ、所有者が市外在住の場合など、対応が行き届かない場合もありますので、気づかれたことがあれば市までご連絡をお願いします。 【市長】 交通安全上、草が生い茂って交差点が見えにくい場合で、所有者がなかなか対応しない場合には、所有者に承諾を得た上で市が曲がり角部分を除草しますので、市までご連絡ください。

7	市長の健康の秘訣を教えてください。	朝昼夜のストレッチと食事は好き嫌いをせずに食べています。また、よく寝るのとストレスを溜めないです。あと市民の方と会話して大笑いしています。笑顔が一番健康によいので、どんどん笑って免疫力を高め、コロナに負けずに健康に過ごしましょう。
8	境高校が勉強を頑張っており、国公立大合格が28名、うち島大が12名となっています。ただ、島根大学は境港市から一番近い大学にも関わらず、電車通学だと授業に間に合わないため入寮している状況です。1限に間に合うバスもありません。このことについて、ご意見をお願いします。	島大や境高の生徒たちが、境港を愛してくれており、境高では「境考学」をやってくれたり、島大の生徒がインターンの形で和紙作りに参加してくれています。またみなとテラスの空き部屋を活用し、中学生などに勉強を教えてくれたり、島大の先生方も大変喜んでおります。境港市内の小中学校の先生は島根から通勤されている方も多いです。 子どもたちの通学については、今回の意見を伺い気づかされたところで、バスなど検討できないかと思ったところです。 とにかく、交流は今後も継続し、島大の生徒が境港で色々やってみたい、住んでみたいと思ってもらえると嬉しいです。
9	少子高齢化対策について、子どもができるからの支援が多くありますが、子どもができるまでの支援に力を入れてはどうでしょうか。	結婚しないと子どもが増えないので、婚活事業を中海圏域で連携して取り組んでおり、各種イベントなども行っています。 それに加え、鳥取県がエントリーした男女をマッチングする「えんトリー」という事業を実施しています。こちらは、初めて利用する際に1万円の登録料が必要になるため、境港市ではその経費を助成する事業を6月議会に上程する予定です。 また、誠道小の跡地活用で若い人が集まるようなものを考えていますので、もうしばらくお待ちください。
10	市営住宅誠道団地の改修工事が今年3月末に完成し検査も終わっているかと思うが、いつから入居可能になるのでしょうか。せっかく完成しているのであれば、早く入居してもらい市営住宅使用料が市に入るようにした方がよいのではないかでしょうか。	市営住宅誠道団地は、生活相談員や緊急通報システムが配備された高齢者向け住宅、シルバーハウジングになります。現在は緊急通報システムの工事をしているところで、今月中に完了する予定です。そのため、7月ごろから順次入居できるように準備をしているところです。